

## 中学校区コミセン運営体制見直しモデル事業の現況と今後の取り組みについて

今年度より大蔵コミセン、錦城コミセンで実施しております見出しのモデル事業につきまして、現状及び今後の取り組みについて報告いたします。

### 1 モデル事業の目的

市民主体の協働のまちづくりを進める本市としては、より多くの市民の皆様に、生涯学習や市民活動の成果を生かして、まちづくりに参加いただきたいと考えています。

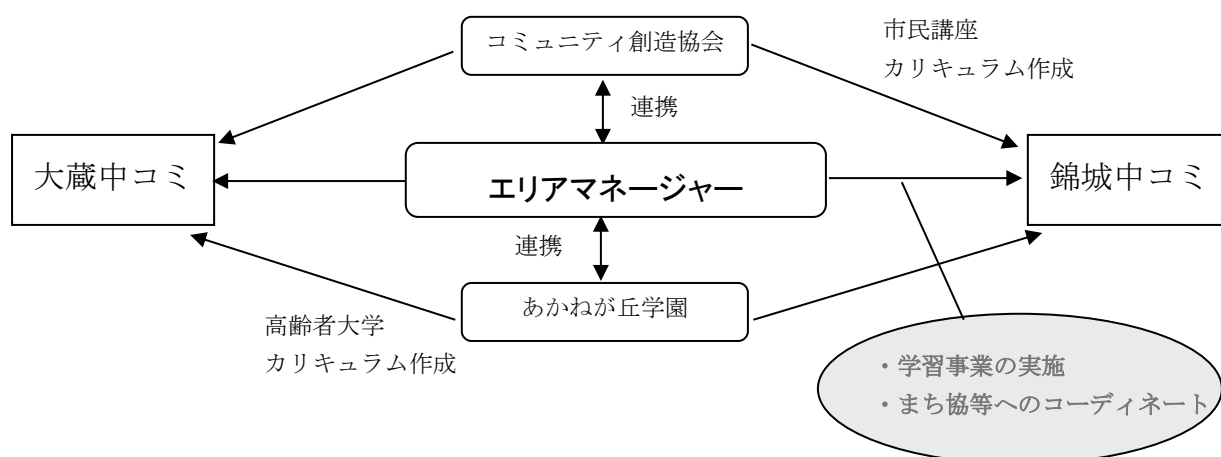
本市生涯学習の拠点である中学校区コミセンは、高齢者大学や市民講座といった生涯学習事業が行われ、また各種サークルやボランティアグループに利用いただき、多くの市民の皆様が活動拠点となっています。

今後、学習者や活動者の力をこれまで以上に協働のまちづくりや、よりよい地域社会づくりに活かせるよう、学習事業の在り方を見直すとともに、所長に代わりエリアマネージャーを配置し、学習者とまちづくり機能を結びつけるコーディネート機能を高められるよう、コミセンの運営体制についても見直しを図るものです。

### 2 今年度の取り組みと検証

#### (1) 運営体制

大蔵、錦城の2コミセンにおいて、2人の所長に換え、1人のエリアマネージャーを配置。同時に、エリアマネージャーをサポートするため、あかねが丘学園とコミュニティ創造協会が、生涯学習事業の見直しや企画の支援を行うこととしました。



## (2) 取り組みの内容

エリアマネージャーの各種業務の負担を軽減し、コーディネート業務に注力できるよう下記の取り組みを行いました。

- ① これまでコミセンが担ってきた業務を洗い出し、モデル事業の目的を達成するため業務の整理を行い、エリアマネージャー、事務職員の仕事の見直しを行いました。
- ② コミセン高齢者大学については、あかねが丘学園と連携し、カリキュラム作成や講師との調整等は今後あかねが丘学園が担っていくよう改善を図りました。また、多様な市民に関心を持ってもらえる講座を新たに受け入れました。
- ③ 市民講座等については、コミュニティ創造協会と連携し、現状の分析を行うとともに、受講者の固定化を解消するため講座内容の見直しを行いました。さらに、イベントなどを通じてどのようなまちづくりへのコーディネートができるか検討を行いました。

## (3) 検証結果

- ① 以前は中学校区コミセンがまちづくり支援の役割を担っていましたが、現在は学習やそれぞれのサークル活動、またコミセン祭りを通じた交流に留まっており、積極的にまちづくり活動などとの連携を意識した取り組みが行われていません。
- ② 2コミセンに1名のエリアマネージャーを配置し、業務の見直しなどを行ったことで、コミセン管理については2コミセン分をこなすことができました。しかし、エリアマネージャーの役割や業務内容についてはまだ十分な検討ができるまでには至らず、一人で2コミセンエリアをカバーできるのかについては引き続き検証を行っていきます。
- ③ 各中学校区内のまちづくりの状況には違いがあるため、状況に合わせた適切なコーディネートのあり方を検討する必要があります。

## 3 次年度の取り組み方針

今後、段階的に所長からエリアマネージャーへの置き換えを行うとともに、地域の実情に合わせた高齢者大学など学習事業の展開、学習者とまちづくり活動等をつなぐ交流事業の展開など、コーディネート機能の強化を図ってまいります。

### (1) 大蔵コミセン、錦城コミセン

今年度と同じく1人のエリアマネージャーを配置し、今年度の取り組みをさらに進め、あかねが丘学園やコミュニティ創造協会との連携による講座内容及び運営の見直しを行いながら、業務整理等により、新たな交流事業の実施などのエリアマネージャーとしての地域コーディネート業務の推進を図ります。

(2) 新たなモデルコミセン

より深いコーディネート業務を行えるよう、新たに朝霧中学校区コミセンに所長に換えてエリアマネージャーを1名配置し、同様の取り組みを行いながら、効率的な体制についての方向性を検討していきます。

(3) その他の中学校区コミセン

コミセンにより地域のかかわりや事業展開に違いがあるため、今年度に行ったコミセン業務の整理表を基に、各コミセンでモデル事業の目的を理解していただきながら、業務の分析を行っていきます。